

文芸きくち

万句の里俳句会 1月句会

雀来ることが嬉しく嫩始
炊きたての七種粥ななくさかに頬ゆるむ
一点の雲も抱かぬ初御空
寒の月仰ぐ祇園の石畳
蠟梅や疎遠の友を案じをり

岩木 敬治
宮本 敏子
加藤 妙子
川口 二子
宮本 雅子

七城短歌会 1月詠草

腐葉土を作りて旬日甘き香の顕たちて菊士の鉄則クリア
世の人に支えられ来し今日百歳生かされ生くべし命のかぎり
穏やけき令和の年明け阿蘇山の峰より出づる初日おろがむ
正月は命日となりし夫は識らぬ小さき曾孫が手を合わすなり
訪ね来し横島干拓舞ひ来たる真鶴艶やか八羽を数ゆ

緒方 正俊
高木 精
嶋田 晴美
緒方 寛子
渡辺 光夫

せせらぎ俳句会 1月例会

どんど跡土の温もり残しをり
成人式あの子はすでに舞妓はん
御僧の衣を召さず御慶かな
久方の友の絵手紙福寿草
新年会校歌となりて果てにけり

坂崎ユキ子
青木ユリ子
藤本 邦治
寺本 和子
五丁 義昭

「里」短歌会 1月詠草

おこたりて苗を枯らした赤き花春の楽しみ一つ失う
年の瀬に見ゆけし亡父の手袋を身に着け夫は御幣を取りし穴川夜神業にて
古となりゆく昭和の戦時下を歩きし吾の令和を歩く
こぼしたる味噌汁拭けば涙目で「ママありがとう」ギョッと娘を抱く
幾数の晦日の星のまたたきの地球の怒りに散りしいのちも

岩本サヨ子
江頭 桂子
山城 雅子
原口 紗季
宮本 淑子

旭志文芸教室俳句の会 1月詠草

麦の芽の條目ただしく芽生えけり
母に似て皸痛あかきし夕厨ゆうらや
修善寺やせせらぎ深し冬紅葉
小さき手にあふるる程の零余子かな
Gパンの干し場を探す冬日かな

芹川のり子
水谷 ミネ
芹川 蓉子
藤本けい子
中尾ヨシコ

溪流短歌会 2月詠草

公園で風揚げ遊ぶ子どもらのこの平穏よ永遠とこに続けよ
冬の朝夜中の雨も止んだらし雀囀りかささぎ騒ぐ
小説の奥へ奥へと冬の雨異界の闇へとわれを誘ふ
新春の寒も厳しき朝の便「春の市立つ」と葉書の届く
にぎやかな日々は過ぎたり夫と吾あべ川もちと濃いめのお茶と

岩根 博恵
堤 よしみ
中川 愛子
山城 雅子
田中 遥子

菊池短歌会 2月詠草

野づら行きふとも気づけり途方もなく遠きまほらのあはき屋月
芦原に初日のさして黄金いろを映す川面に鴨の遊べり
振り向けばおのおのものに良き師匠我が人生の恵まれてあり
米軍の女性無造作にチョコ投げぬ必死のボク等イナゴの如し
夫在らむこの世に生きて十余年今ひとたびの温き手の平

奴留湯健蓉
安藤 則子
川口すみ子
古賀 勝士
中川 愛子



万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会
「里」短歌会
菊池短歌会

佐々 ☎0968(24)3761
／溪流短歌会
木原 ☎090(5284)2418
安藤 ☎0968(25)4285

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。